

ジェリー・ヨコタさんと考える 南ア、パレスチナ、そして日本

12月15日（日） 午後2時～4時半

場所：エル・おおさか南館101号

(地下鉄・京阪天満橋駅から徒歩300m)

イスラエルによる、パレスチナ・ガザ地区でのジェノサイドは、1年以上にわたり4万数千人の犠牲者を出し、レバノンなど他の中東諸国にも拡大しています。私たちは、街頭でのアピールやデモ、様々な講演会や上映会を行うなどして、抗議の声を上げるよう努めてきました。

この運動をさらに広げ、実際にジェノサイドを止めるために、私たちは過去の

運動からも教訓を得る必要があります。特に、レイシズムと植民地主義による支配という点で、パレスチナと多くの共通点を持つ南アフリカ共和国のアパルトヘイトを廃止に追い込んだ闘いからは、学ぶべき点が数多くあると思います。

今回、日本での反アパルトヘイト運動で活躍され、現在はガザ・ジェノサイド阻止の運動に取り組まれているジェリー・ヨコタさんをお招きし、パレスチナの解放に向けて私たちに何ができるのか、ともに考える場を持つことにしました。ぜひご参加ください。



ジェリー・ヨコタ (Gerry Yokota) さん

大阪大学名誉教授。かつて反アパルトヘイト運動にも参加し、釈放されたネルソン・マンデラ氏の日本での歓迎会の企画・運営とともに通訳を担った。

今年3月、「ガザ停戦巡礼」としてガザの南北の長さと同じ40km、京都府大山崎町から東大阪までを歩く。各地でのスタンディングやデモにも、抗議の意思を示すために何度も参加されています。



ライブ・イン・ピース☆9+25

<https://www.liveinpeace925.com> Email; info@liveinpeace925.com TEL; 090-5094-9483

